

2007
春号

Vol. 11

ひだまり



宮城県立がんセンター ボランティア「ひだまり」平成19年4月15日 発行
編集責任者 「ひだまり」編集委員会

「野田山の春によせて」

第一外來看護長 星久美

特集 花壇・ガーデニング

私たちのボランティア「ひだまり」の活動の一部・ガーデニングをご紹介いたします。

内容は、外庭・花壇の季節ごとの植え替え、草取り、花がら摘み、外来ロビーの鉢花の水やりなどです。また、昨年要望があり外来中庭(光庭)にもガーデニングを始めてみました。

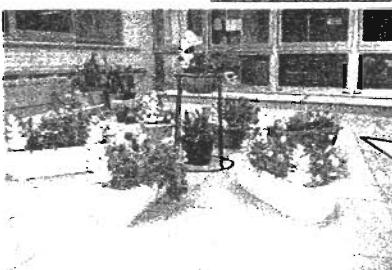
「病院内が明るくなりましたね。」と大変好評のようです。

緩和ケア病棟では、中庭花壇の手入れ、渡り廊下の観葉植物や、蘭の手入れなどを行なっています。活動中、患者さんと花談義になり、花の育て方・土作りなどを教えて頂くこともあります。これからも春夏秋冬、季節を感じながらボランティア活動が出来たらと思います。

(ガーデニング担当 ボランティア)



緩和ケア
病棟の庭
も花ざかり
です。



外来中庭のセンターにも工夫をこらしました。

文芸コーナー

紅梅と木蓮の花盛りなり
短歌
向走きは彼方に春の海
俳句
路彼女坂へと花吹雪る

武子
初子
しばし見惚るる



輝季のしきよ節までや
出每わまますとにさばりこの
すどにさばりこの
こ立姿のに百
とちを桜花
でど変も花
しまえみ繚乱
よつうて私との
いたで季一
たちは節花
だの。に一
け目そなで
たら花し今き
たま号ま
ちせのし代
もて特た表
喜く集。格
んれ花この
でて壇の桜
いいのセを
つま花ン始
そす々タめ
う。も

編集委員

寺小林晴美

前田々利木サチ

鈴木文子

高泉武悦

編集後記

コラム ひだまり

この病院でボランティアとして活動を始めて、六年程になります。病院のボランティアって一体何をするのかさえ、良く理解もせず知人のすすめで参加いたしました。

外来の活動、院内の移動図書、緩和病棟での手伝い等など、全て緊張と恥ずかしさが入り混じった複雑な気持ちでした。これらの活動を通して、多くのことが私自身の血や肉になっている事を感じています。今は、日常の活動の他に月に一度、絵手紙の講習をしています。患者さん、ご家族の方々と共に楽しく絵筆をとり、喜んでいただいております。ちょっとした言葉や、態度に私たちの心が現れてしまいます。

苦しんでおいでになる患者さん達に、私たちの活動を通して少しでも希望の花を咲かせる事ができますことを祈りながら、日々を過ごしてまいりたいと思います。

(佐藤 節子)

ひだまりニュースフェース コーナー

ボランティアを始めてある日、外来受付補助をしていました時のことです。男性の方よりバス時刻について聞かれ説明を終えたところ、「私は2年前に手術入院をした時、ボランティアの方から菜を頂いて、今でもそれを使っています！」と言われました。

私は、この方が元気になられた事と、何気ない菜を今でも大事に持っていて下さった事に感動し、嬉しくなりました。

先輩のボランティアの方の気配りで、私もひと時の幸せを感じた一瞬でした。
私も、そんな気持ちになつていただけるような活動をしていきたいと思いました。

(相沢 明子)



ギャラリー・イベント 予定

4/10~4/24 渡邊正博 写真展
5/1~5/21 フォトクラブ中山 写真展
5/29~6/19 ゆりあげざっこ 写真展
6/26~7/10 チャーチル会仙台 絵画展

4/20 PM4:30~ 26回ロビーコンサート
「須田賢一 コンサート」
6/22 PM4:30~ 27回ロビーコンサート
「モアナ・ハワイアンズ」&
「アロハ・シスターズ」

